

(初回)担当者会議シナリオ

【登場人物 6名】

本人 (米田 誉)
母 (米田 ひかる)
相談支援専門員 (藤山)
B型サビ管 (川瀬)
GHサビ管 (松嶋)
市役所 (井端)

相談支援専門員:本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。早速ですが、今から米田誉さんの担当者会議を開催します。よろしくお願いいたします。
では、会議を始める前に簡単に自己紹介をお願いします。

<自己紹介>

○相談支援専門員から順番に自己紹介をする。

相談支援専門員:では、私から、相談支援専門員の藤山と申します。よろしくお願いいたします。

米田誉:米田誉です。お願いします。

母親:誉の母の米田ひかるです。よろしくお願いいたします。

B型サビ管:就労継続支援 B型スマイルのサービス管理責任者の川瀬です。よろしくお願いいたします。

市役所:A市役所福祉課の井端です。よろしくお願いいたします。

GHサビ管:グループホームゆのまちハウスのサービス管理責任者の松嶋です。よろしくお願いいたします。

相談支援専門員:ありがとうございます。では会議を進めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

<サービス等利用計画説明>

相談支援専門員: それでは、サービス等利用計画の説明をさせて頂くに当たり、今回、米田誉さんがスマイルさんやゆのまちハウスさんを利用しようと思ったきっかけ等も含めて、少しお話をさせていただきます。

高校卒業後に市内のスーパーに就職され、順調に働いていたのですが、部門が変わったことをきっかけに退職されました。その後、ご家族の伝手でいくつかアルバイトをされていたのですが、なかなかうまくいかない状況があり、今はご自宅で過ごされています。誉さんも辛い経験をされています。そんななか、ご家族と誉さんが色々とお話した結果、福祉の制度を頼ることができないかということで、お母さんが市役所に相談をされ、委託相談支援事業所のかげやきさんにつながったという経緯があります。その相談の中で、誉さんから「働きたい気持ちもあるけど、怒られるのが怖い」、「姉弟や友人のように働いている人がうらやましいけど、働くことに自信がない」、「友人のように、いつか一人暮らしをしてみたい」というお気持ちを話してくれました。そこで、ご家族と誉さんからのご希望をお聞きして話し合った結果、まずは、働くことや一人暮らしに向けた練習をやっていこうということになりました。

利用にあたり、いくつか市内の事業所の見学をしたところ、ゆのまちハウスさんとスマイルさんに行ってみたいとの希望を誉さんからお聞きしましたので、体験利用をしていただき、私の方でサービス等利用計画(案)の作成をさせて頂きました。

これまでの流れとしては以上となりますが、誉さん、お母さんお間違いはないでしょうか？

母: はい問題ないです。

誉: は…はい(緊張した様子)

相談支援専門員: ありがとうございます。それでは、ここでサービス等利用計画(案)のご説明をさせていただきます。(本来は説明を行うが、時間の関係上省略)

<各事業所からの本人・家族への聞き取り>

相談支援専門員: それでは、ゆのまちハウスさんやスマイルさんから、サービス等利用計画(案)へのご意見や体験時の様子なども含めてよろしくお願ひします。

GH サビ管: では、ゆのまちハウスからよろしいですか？先日、見学や体験利用をしていただき、利用したいのご希望をお聞きしました。あれから時間がたって色々考えることもあったかなと思いますが、今のお気持ちをもう一度お聞きしてもいいですか？誉さん、いかがでしょう？

誉: うーん…

母親:私も見学させていただいたときに、きれいな建物でよかったです。一つの部屋に数人の方と過ごすのを想像していたのですが、個室だったのでゆっくりできたみたいです！送っていったときは少し緊張してて心配でしたが、帰ってきてから機嫌も良かったので楽しかったんじゃないかな？と思います！楽しかった？(誉に問いかける形で)

誉:楽しかった・・・

GH サビ管:そうですね。お母さんもありがとうございます。緊張したと思いますが、楽しかったと言ってもらえてよかったです。

母親:今まで家事とかをさせてなかったんで、できるのかどうか不安ですし、いきなり一人暮らしするのは無理だと思っているので、練習させて頂けるのは本当に助かります。なかなか家では「手伝いなさい」といっても、動かないので・・・

GH サビ管:ありがとうございます。それでは、ゆのまちハウスを利用しながら、一人暮らしに向けて、できることを一緒に探しながら取り組んでいきましょう。誉さんのことをもう少し教えていただきたいので、別の日に「できることや得意なこと」、逆に「苦手な事」、また「ゆのまちハウスでどんなことがしたいか」などを詳しくお聞きしたいと思います。よろしいですか？

誉:うなづく

母親:しっかり家事の練習をして、皆さんと仲良く過ごしてほしいです。誉、頑張りなさいよ！

GH サビ管:ちなみに、誉さんは一人暮らしはいつごろからしてみたいですか？

誉:う～ん・・・わかりません・・・。

GH サビ管:ありがとうございます。では、また後日色々とお話を聞かせて頂きますね。

相談支援専門員:スマイルさんはどうですか？

B 型サビ管:はい。体験の時は月曜日から金曜日までの 5 日間だったのですが、体験してみてどうでしたか？

誉:少し疲れました。

B 型サビ管:疲れもあったと思いますが、休まずに体験に来てくれてよかったです。いくつか作

業を見学して、今回は軽作業を体験して頂いたのですが、他にやってみたい作業はありましたか？

誉：わかりません・・・

B 型サビ管：いいですよ。では、体験の時に何か困ったことはありましたか？

誉：組み立てはできたけど。困ったこと・・・部品がたくさんあって、疲れた。

B 型サビ管：そうだったんですね。体験のときは辛いご様子がありませんでしたが、困ってたのですね。体験の時は目標を決めていなかったのので、終わりが分かりにくかったかもしれません。体験してみて、スマイルで仕事の練習をしていこうと思いますか？

母親：ちょっと、すみません・・・前の職場では怒られることが多くて、とても怖かったようです。これまでアルバイトもしてきたのですが、長く続かないんです・・・。どうしてなのでしょう・・・。でも、練習したらできるようになりますよね！ 誉も、スマイルさんでも怒られたくないよね？ 頑張れるよね？

誉：うん・・・、もう怒られたくない・・・

B 型サビ管：お気持ちを聞かせてくれて、ありがとうございます。体験では、初めての作業でしたが、問題なくできていたと思いますよ。

さきほど誉さんも話されていたように、軽作業で組み立てを中心にして頂きました。シンプルな工程が 5 つほどあって、覚えるまでに少し時間がかかっていましたが、覚えてしまえば一定のペースで作業を続けてくださっていました。お若く体力もあるので、慣れて覚えられると安定して仕事ができるチカラがあると思います。(やってみたい作業をもう一度確認する←中嶋テイスト)

誉：う～ん・・・わかりません・・・。

母親：スーパーで働いていた時は、お総菜のところは 1 年くらい続いたよね？(誉うなずく) 回転ずしのアルバイトは、洗い場のお仕事なんかはできてると喜んでいました。だから、同じ食べ物扱うカフェのお仕事とかで、もう一回練習したらどう？？誉、どう？

誉：う・・・うん・・・

B 型サビ管：そうですか。軽作業だけでなく、カフェ作業もしてみますか？

誉:はい…。

母親:やり方が決まってる仕事はできるみたいなんですけど、臨機応変に…が難しいんですよ。もう大人なんだし、そういったところも頑張っでできるようになってほしいんです。誉、どう？

誉:う…うん。

B型サビ管:お母さんもありがとうございます。ちなみに体験の時は3キロほどの道を自転車で通ってもらっていたのですが、どうでした？大丈夫でしたか？

母親:アルバイトの時も自転車で行ってたので、大丈夫だと思います！大丈夫よね？

誉:うん…大丈夫です。

B型サビ管:そうですか、では、自転車での通勤ということにしましょう。

<各事業所間での確認事項>

GH サビ管:グループホームからもいいですか？ゆのまちハウスから通うことになるんですけど、すぐ自転車で行けますかね？道とか覚えられますかね？

B型サビ管:そうですね。誉さんどうです？道、わかりますか？

母親:この子は、覚えるのに少し時間がかかるし初めての道は迷うので、いきなりは難しいと思います。

B型サビ管:いきなりは、不安もあるかもしれないですね。自転車でも車でも、道は基本的に一緒だと思うので、覚えるまでは送迎をさせていただいて、覚えたら自転車に切り替えるというのはどうですか？

母親:送迎してもらえるんですね！ちなみに送迎はお金がかかりますか？

B型サビ管:スマイルでは、送迎料金は実費ではなく福祉サービスの利用料に含んでいます。その利用料は、所得に応じて変わるのですが…井端さん、誉さんの場合はいかがですか？

市役所:そうですね、上限額内でのお支払いになると思います。受給者証に上限額が記載されていますので確認していただければと思いますが、戻り次第確認してご連絡しましょうか？

母親:ありがとうございます。教えて頂けると助かります。家族としては、通うことに慣れるまでは送迎の方が安心できるので、ありがたいです。

B 型サビ管:わかりました。それでは道順を覚えるまでは送迎させて頂き、一緒に確認をしていきたいと思います。誉さんもそれで大丈夫ですか？

誉:はい・・・わかりました。

GH サビ管:そうなる送迎はゆのまちハウスまで来ていただくということでもいいですか？

B 型サビ管:はい、近くまでお迎えに行くことは可能です。逆に送迎車が近くまで行っても大丈夫ですか？

GH サビ管:はい。ゆのまちハウスの目の前に、来客用の駐車場がありますので、そこに停めて頂いて大丈夫です。ちなみに、体験の時は、何時から出勤されてましたか？

B 型サビ管:体験の時は 9 時 30 分から作業ができるように出勤してもらいました。利用開始後も同じ時間で出勤してもらおうと思いますが、誉さんどうですか？

誉:大丈夫です

B 型サビ管:わかりました。それでは、9 時 30 分に間に合うようにグループホームまでお迎えに行かせていただこうと思いますが、ゆのまちハウスさんはその時間に迎えに行っても大丈夫ですか？

GH サビ管:そうですね・・・、体験の時は、まだ生活の流れなどに慣れていないこともあって時間がかかっていたので、その時間だとギリギリかもしれません。ただ、世話人さんが 10 時ごろまでいるので、確認やお見送りができるので大丈夫です。時間が決まれば、その時間に合わせて誉さんとスケジュールを立てていこうと思います。誉さん、いいですか？

誉:うん。

母親:すみません、お世話になりますがお願ひします。

B 型サビ管:スマイルからもよろしいでしょうか?ゆのまちハウスさんやスマイルでの様子などを情報共有できればと思っています。他の方の場合は、連絡ノートでやり取りをしているのですが、誉さんはそういった連絡ノートみたいなものは嫌じゃないですか?

誉:はい

母親:誉、ちゃんと分かってる??すみません、よく分かってなくても返事することも多いので…。その連絡ノートは誉も書いたりしますか?自分で書いたりするのはできないと思うので…

B 型サビ管:連絡ノートは、誉さんのご様子をお互いの職員が共有するためのものです。でも、どのような項目があるのかなど、お見せしながらお伝えさせていただきますね。誉さんからの了承をもらえた際には、ゆのまちハウスさんにもご協力頂きたいのですが、大丈夫ですか?

GH サビ管:はい。お仕事での様子などがわかると、こちらも参考になるので助かります。生活の場面でも何か変わったことや確認したいことが出てきたときには書かせていただきます。

B 型サビ管:わかりました。では、誉さんにも確認を取りながら準備をしていきます。

GH サビ管:すみません。もうひとつ…。体調不良などでお休みする場合やスマイルさんを早退する場合の連絡方法を確認させてください。

B 型サビ管:お休みされるときは、なるべく送迎の車が出るまでの 8:30 までにはスマイルまでお電話頂けると助かります。誉さんが電話できそうならしてもらえると、今後の練習にもなるかと思いますので、サポートをお願いしたいです。また、作業途中などに体調不良などで早退する際にはゆのまちハウスさんに連絡させて頂きます。また、もしも通院が必要になった場合は、ご家族にもご連絡させて頂きたいのですがよろしいですか?

母親、GH サビ管:はい。大丈夫です。

<まとめ>

相談支援専門員:それでは、計画通り B 型事業所とグループホームの利用になりますが、支給決定の方はどうですかね?

市役所:はい。支給決定については、サービス等利用計画(案)に記載通りの支給決定がされています。いつでもご利用ができるようになっていますので、利用開始の日にちが決まればまた

ご連絡ください。また、利用契約が結ばれましたら、契約内容報告書の提出もお願いします。

相談支援専門員：ありがとうございます。お母さんから何か他にありますか？

母親：はい。誉のことで聞きたいことがあったら誰に連絡したらいいですか？

相談支援専門員：そうですね。誉さんのサービスに関することは私で結構ですし、各事業所での詳しい様子などは、サービス管理責任者の方に直接連絡を取っていただければ大丈夫です。ただ、とりあえず私に連絡いただければ、対応させていただきますので遠慮なくご連絡ください。

母親：はい、わかりました。いろいろとお世話になるとは思いますがよろしくお願いします。

相談支援専門員：誉さんからは大丈夫ですか？

誉：はい。

母親：誉、これからお世話になるんだからちゃんとお申しなさいます。

誉：うん。よろしくお願いします。

相談支援専門員：この後、ゆのまちハウスさん、スマイルさんから各事業所でのご希望などを確認して誉さんの目標と支援計画を立ててくれますので、またその時に分からないことがあったら詳しく聞いて、不安なく利用が開始できるようにしましょう。

GHサビ管：はい。またお話をお聞きする日を改めてお伝えしますので、その時にでもわからないことがあれば聞いてくださいね。

B型サビ管：ゆのまちハウスさんと同じで、わからないことがあれば聞いてください。

誉：はい。お願いします。

相談支援専門員：はい。それでは、これで米田誉さんの担当者会議を終わらせていただきます。お疲れさまでした。

全員：お疲れさまでした。